

# 〈オンラインセミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 421 (通算 753 回)

2021年9月7日(火)

大学DX期の学習支援・教育改善 ―

## 教育・学習データ利活用の新展開と実際

～ 利活用ポリシー／システム設計と運用／個人情報保護／学習分析 (LA) ～

※ 教育・学習データ利活用の背景／範囲と目的・制度設計・環境整備・人材育成／教育DXの近未来

※ 利活用ポリシー～その必要性・国外事例・AXIESにおけるひな形の策定／実際と今後の展望

※ [九州大] LAセンターの始動と取組み／分析事例／オンライン授業への適応／教育・学習の改善

### ● 講師陣 ●

久富 望 氏 / 京都大学 大学院教育学研究科 助教 (情報担当)

上田 浩 氏 / 法政大学 情報メディア教育研究センター 教授

大学 ICT 推進協議会 (AXIES) 教育技術開発部会 主査

島田 敬士 氏 / 九州大学 ラーニングアナリティクスセンター システム運用部門長

大学院 システム情報科学研究院 教授

2021年9月7日(火)

オンライン開催

地域科学研究会  
高等教育情報センター

日時: 2021年9月7日(火) 11:00 ~ 16:30

会場: ウェブ会議システム

「Zoom」によるオンライン開催

※返信メールの送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. オンライン当日参加(資料代込)

39,000円(税込)

B. メディア参加(資料・音声CD送付)

42,000円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 19,500円(税込)

※ オンライン当日参加をご希望の場合は、メールアドレスをご記入の上、お申込みください。

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。

※ 当日オンライン参加とともに音声CDをご希望の方には、別途販売もしておりますので、お問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

(※参加申込みの折は、必ずFAXかE-mailにてお送りください)

☆ 高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAXまたはE-mailにてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株)地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234)1231 Fax: 03(3234)4993

E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

### 研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 421

教育・学習データ利活用の新展開と実際

(該当する□に✓印を)

年 月 日

オンライン当日参加  メディア参加

支払方法  当日払い  銀行振込

必要書類  請求書  見積書  領収書

勤務先

(請求書等記載の宛名)

所在地 (〒 )

連絡部課・担当者名

TEL

FAX

メールアドレス

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
11:00 12:30	<p>□ 教育・学習データ利活用の概論と展望                      ～ 教育DX (デジタル・トランスフォーメーション) の近未来の考察 ～                      京都大学 久富 望                      &lt;オンラインでのご出講&gt;</p> <p>1. 教育・学習データ利活用の背景                      (1) 初等中等教育における背景：教育の情報化ビジョンから GIGA スクール構想まで                      (2) 高等教育における背景：数理・データサイエンスのための教育を中心に</p> <p>2. 教育・学習データ利活用の全体像                      (1) データの範囲と利活用の目的                      (2) 利活用のための制度設計                      (3) 利活用のための情報環境の整備                      (4) 利活用のための人材育成</p> <p>3. 教育 DX の近未来                      (1) エビデンスに基づく教育                      (2) 教育 DX におけるコアと困難：未来における日本の大学の役割</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:30 15:00	<p>□ 教育・学習データ利活用ポリシーのひな型の策定と利用                      法政大学 上田 浩                      &lt;オンラインでのご出講&gt;</p> <p>1. 学習データの利活用ポリシーの必要性</p> <p>2. 国外の事例</p> <p>3. <sup>アクセス</sup> A X I E S における「教育・学習データの利活用ポリシー」の策定</p> <p>4. 法政大学における L A への取り組み</p> <p>5. 今後の展望</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:10 16:30	<p>□ 九州大学ラーニングアナリティクスセンターの始動と取り組み                      ～ 教育データの一元管理／学習分析／教育・学習の改善 ～                      九州大学 島田 敬士                      &lt;オンラインでのご出講&gt;</p> <p>1. 九州大学における教育システムの運用                      (1) 教育システム運用体制                      (2) 教育データ管理                      (3) システム利用支援</p> <p>2. 学習分析 (ラーニングアナリティクス)                      (1) 学習分析とは？                      (2) 教育データの分析事例                      (3) オンライン授業への適応事例</p> <p>3. 教育・学習の改善への取り組み                      (1) 個人適応化された学習支援                      (2) 教材分析に基づく学習支援                      (3) 主体的な学びの支援</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>